

## (3) 庄内川に架かる橋(上流から)

尾張藩は防衛の観点から大きな川の架橋には消極的で、渡河は「徒渡」や「渡し」が基本でした。しかし渇水期には仮橋が設けられているところもありました。

春日井市の境界を流れる庄内川には、かつて10か所程の「渡し場」がありました。その場所には、現在橋が架けられているところが多くあります。

上流から庄内川に架かっている橋を見ていくことにします。

- ① 城嶺橋(県道 205 号)…………… p446
- ② 玉野橋……………p446
- ③ 鹿乗橋(県道 53 号) (河口から 36.8km) …… p447
- ④ 庄内川橋梁(愛知環状鉄道)…………… p447
- ⑤ 愛知用水サイフォン橋…………… p447
- ⑥ 東谷橋(河口から 35.2km) …… p448
- ⑦ 新東谷橋(国道 155 号) (河口から 35.0km) ……p448
- ⑧ 大留橋【平成 25 年(2013)撤去】……………p448
- ⑨ 志段味橋(県道 214 号) ……p449
- ⑩ 庄内川橋(東名高速道路) ……p449
- ⑪ 下志段味橋(県道 75 号) …… p448
- ⑫ 吉根橋(県道 213 号) (河口から 30.0km)……………p449
- ⑬ 庄内川大橋(国道 302 号) ……p450
- ⑭ 庄内川橋(名古屋第二環状自動車道)……………p450
- ⑮ 松川橋(県道 30 号) (河口から 25.2Km)……………p450
- ⑯ 庄内川橋梁(中央本線) (河口から 23.7Km)…………… p451
- ⑰ 勝川橋(国道 19 号) (河口から 23.2Km)…………… p451

松河戸文化科学探求隊  
隊長 長谷川 浩  
080-3657-7052  
松河戸町の沿革ホームページ  
<http://matsukawado.com/>

## ① 城嶺橋(県道 205 号)

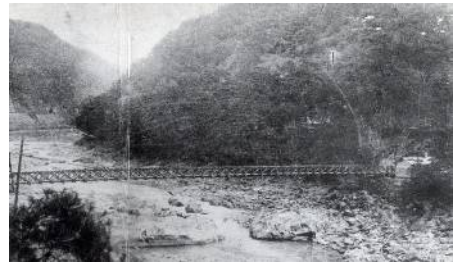
初代城嶺橋は名古屋開府 300 年を記念し、明治 42 (1909) 年 3 月に着工、翌年完成した木橋であったが、その年に大水で流失してしまった。

大正元年(1912)年には 2 代目のつり橋が完成し、この時から定光寺駅新設運動が本格化した。駅が出来たのは大正 13 年(1924)であった。

現在の橋は、3 代目で昭和 12 年 (1937) に京都四条大橋を模してコンクリートアーチ橋が造られた。

名前の由来は一説には近くの山頂から名古屋城が見えることから名づけられたとのこと。

大正期の水平線、垂直線を強調する「セセッション」風デザインで、尾張徳川家 19 代義親氏による「城嶺橋」の揮毫を親柱に持っている。

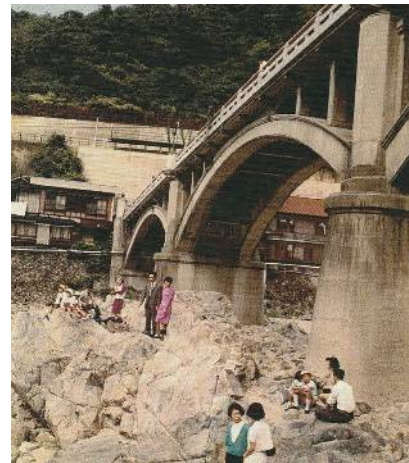


2代目城嶺橋の「つり橋」(大正元年完成の頃)

この辺りから鹿乗橋付近までは、名古屋の奥座敷ともいわれる景勝地で、愛知高原国定公園にも指定されており、かつて多くの旅館があり賑わっていた。



3代目の城嶺橋 (昭和 40 年頃)



城嶺橋 (昭和 43 年頃)

## ② 玉野橋

かつて「岩瀬の渡し」があった辺りにある。

庄内川の急流に十分耐えるよう二本の太い橋脚がささえるコンクリート造りの本格的な橋で昭和 32 年(1957)に架け替えを行った。

内津、外之原から、水野、瀬戸へ行く近道として便利である。



玉野橋 (令和 2 年)



玉野橋 (昭和 36 年頃) 春日井市

## ③ 鹿乗橋(県道 53 号) (河口から 36.8km)

景勝地の溪谷に架かる鹿乗橋は、かつて「入尾の渡し」があった辺りにある長さ 73m、幅 4.5m の橋で、明治 43 年 (1910) の完成時には鋼ブレーストリブド・アーチで、メラン工法で建設された美しい橋だった。



建設当時のままの鹿乗橋

昭和 26 年 (1951) に、鉄骨の腐食により強度が建設当初の半分近くになったため、鉄筋コンクリートで被覆され現在に至っている。

明治時代に作られた、11 のスチールアーチ橋のうちの現存するひとつとしても、貴重な存在である。

橋銘の由来は、「東谷山の祭神が白鹿に乗って渡河し高倉明神の許に通われた」という言い伝えで、玉野川に「鹿乗ヶ淵」の地名ができ、ここから「鹿乗」が命名されたという説もある。

昭和 5 年 2 月 20 日に、全国初の省営 (鉄道省) バスが岡崎～多治見間及び瀬戸記念橋～高蔵寺間で営業を開始してこの橋を渡った。

昭和 5 年「東京瓦斯電気工業」(現いすゞ自動車、日野自動車など) が、官民協力で製造した初の国産バス  
岡多線(岡崎～多治見、瀬戸記念橋～高蔵寺)で、昭和 37 年までつかわれていた。  
名古屋市港区、リニア・鉄道館に保管されている国鉄バス第 1 号車  
2021 年 10 月重要文化財指定



鉄筋コンクリートで被覆された鹿乗橋

## ④ 庄内川橋梁(愛知環状鉄道)

愛環鉄道は、高蔵寺から岡崎市までをつないでおり愛知県などが出資する第三セクター方式の鉄道事業である。

昭和 63 年(1988)愛知環状鉄道線 (岡崎駅 - 新豊田駅 - 高蔵寺駅間) が開業。100 系電車の営業運転を開始する。



庄内川橋橋梁(愛知環状鉄道)

左側に愛知用水サイフォン橋が見える。

(昭和 61 年頃) 春日井市

## ⑤ 愛知用水サイフォン橋

愛知用水は、木曾川の牧尾ダム、味噌川ダム、阿木川ダムの 3 つを水源に美浜町の美浜調整池に達する 112 キロメートルの幹線水路と、幹線水路から分岐して農業用の水を導く支線水路 1,012 キロメートルからなっており、昭和 36 年(1961)に造られる。

高蔵寺ニュータウンは愛知用水の水を利用することを前提として造られた。



東谷橋から南東に見る東谷山 名古屋市の最高峰、198.3m

手前のアーチ橋は愛知用水サイフォン橋(水道橋)

春日井市・瀬戸市間 右岸下流から (令和 2 年)

この橋は、幹線水路が可児市から愛知県に入り、犬山市、小牧市、春日井市から名古屋市守山区へ行く庄内川をまたぐサイフォン橋である。



## ⑥ 東谷橋 (河口から 35.2km)

大正 2 年(1913)頃にできた旧橋は、現在より 500m 程下流、現新東谷橋辺りにあり、本流部分のみに架けられたもので、それ以前は「平内の渡し」があり、渡し船は村人により運営されていた。



美しいデッキトラス工法の橋 左岸下流から (令和 2 年)

現在の橋は、昭和 33 年(1958) 3 月、長さ 160m、幅 6 m のデッキトラス工法の橋が架橋された。



昭和 33 年東谷橋の渡り初め

高蔵寺側から守山区上志段味に向かって渡り初めをしている。桑原県知事の後に 3 夫婦が招待されている。渡り初めには、3 世代の夫婦が揃った一家、または高齢の夫婦に先頭で渡ってもらう習慣があった。めでたさにあやかり、橋が長く保つように願う意味があった。

本流部分のみに架けられた旧橋  
大正 15 年 上志段味誌

## ⑦ 新東谷橋(国道 155 号) (河口から 35.0km)

昭和 59 年(1984)建設 長さ 256m、幅 10m、新東谷橋南交差点(守山区)に至る国道 155 号の長大橋となっている。



新東谷橋 左岸下流から (令和 2 年)

## ⑧ 大留橋【平成 25 年(2013)に撤去】

大留町と上志段味に架かっていた。幅 1.8m 程の人道橋で、昔は近くに「大日の渡し」があった。

大正 13 年(1924)本流部分に木橋が架けられ、最後に残っていたのは昭和 39 年(1964)年に造られたものだった。

春日井市側はコンクリート橋脚に鉄橋、中央はトラス橋、守山側は木橋と自治体の不整合さがあらわれたユニークな橋で、管理は春日井市が行い大雨、強風時には閉鎖されていた。平成 25 年(2013)春に完全に撤去された。

大正 13 年に本流部分に架けられた木造の橋  
この橋が架けられるまで、大日の渡しがあった。

昭和 39 年に造られた大留橋 左岸下流から (平成 10 年)



大留橋 名古屋方面へ (平成 10 年)

## ⑨ 志段味橋(県道 214 号)

大正 14 年(1925)に初めて架橋されたが、昭和 15 年(1940 年)に一部流失、改修されたが、昭和 27 年(1952)豪雨により再度一部流失、補修されたが昭和 32 年(1957)の集中豪雨でまたも流失した。

三年後の昭和 35 年(1960)に長さ 133m、幅 3 m の木橋が架橋され、昭和 49 年(1974)11 月新たに改修された。



志段味橋 左岸下流から (令和 2 年)

## ⑩ 庄内川橋(東名高速道路)

東名高速道路の春日井市・名古屋市境に架かる橋で、昭和 44 年(1969)に東名高速が開通の時に架設した。

写真(2020 年 8 月)は、更新工事を進めているところで、床版下面に鉄筋腐食によるコンクリートの剥落や遊離石灰、ひび割れなどの損傷が発生しているとのことで、床版を取り換える作業を行うため足場を設置している。



下志段味橋上流約 180m 程にある東名高速道路庄内川橋 右岸上流から(令和 2 年)

## ⑪ 下志段味橋(県道 75 号)

昭和 25 年(1950)架橋、昭和 32 年(1957)の集中豪雨で流失。

3 年後の昭和 35 年(1960)に長さ 198m、幅 3 m の木橋が架橋され、その後、昭和 47 年(1972)8 月に長さ 202m、幅 11m の鋼橋が架橋された。



下志段味橋 右岸上流から (令和 2 年)

## ⑫ 吉根橋 (県道 213 号) (河口から 30.0km)

大正 3 年(1914)、冬の渇水期のみ、本流に幅約 1.8m 程の木橋が架けられ、夏期には取り外されていた。

その後本格的な木造の橋が架けられたが昭和 32 年の洪水で半壊してしまい昭和 35 年に待望の鉄筋コンクリートの橋ができた。

現在は、平成 5 年(1993)1 月、春日井市熊野町-吉根に至る県道 213 号の長大橋として架橋された。

橋の下(下流の右岸)に上条用水(左岸は神明用水)の堰がある。



昭和 35 年吉根橋の渡り初め 熊野町から守山区吉根町を望む



昭和 32 年 庄内川の洪水で半壊の吉根橋 熊野町から吉根方面のぞむ



現在の吉根橋、右下は上条用水の堰 右岸下流から (令和 2 年)



⑬ 庄内川大橋(国道 302 号)

名古屋環状 2 号線の一般部の橋として架設された。  
この東北部区間は、平成 5 年(1993)2 月に開通した。  
橋の途中に 3 カ所展望場所が設けてあり、そこから  
は、東部山地が望め、眺めは格別である。



庄内川大橋(国道 302 号)右岸上流から (令和 2 年)



真ん中の展望場所から東部山地を望む  
令和 2 年

環状 2 号線の庄内川  
大橋の開通式  
(平成 6 年 10 月)

写真は、勝川～名古屋  
守山区喜多山の庄  
内川大橋区間の開通  
式の様子。



⑭ 庄内川橋(名古屋第二環状自動車道)

名古屋環状 2 号線の専用部の橋として架設された。  
この東北部区間(勝川 IC から上社 JCT9.00 km)は、  
平成 5 年(1993)12 月に開通した。

1 つのアーチでできたきれいな橋である。



庄内川橋(名古屋第二環状自動車道)(右岸下流から)  
(令和 2 年)

※ 名古屋環状自動車道は、名古屋市外周を走る環状一般道として昭和 32 年に計画された。昭和 42 年に自動車専用部(高速道路)を併設する道路に都市計画が変更され、以降、順次各区間が開通していった。

⑮ 松川橋(県道 30 号) ((河口から 25.2Km)

かつて「松河戸の渡し」が下流近くにあった。  
昭和 13 年(1938)に本格的な木造の自動車が通れる  
橋が出来たが、1957 年(昭和 32)の集中豪雨で大破した  
ので、1961 年(昭和 36)に上流 139m に新たに長さ 297m、  
幅 7 m の鋼橋が架橋された。

【 参照(p146)3 暮らしと川 (5)渡しと橋 】



松川橋(県道 30 号)(右岸上流から)(令和 2 年)



龍泉寺から庄内川・松河戸方面を望む (昭和 8 年頃)

中央に本流のみに架橋された松川橋  
奥は中央線(西線)庄内川鉄橋

白沢小学校 15 周年記念誌『白沢のながれ』より



昭和 36 年に完成した現在の鉄筋コンクリート  
製の橋(松川橋)を架ける工事中  
旧橋の上流 139 メートルに掛けられた。  
(昭和 35 年)

## ⑩ 庄内川橋梁(中央本線) (河口から 23.7Km)

中央線の鉄橋として架設され、明治 33 年 7 月に名古屋－多治見間が開通した。

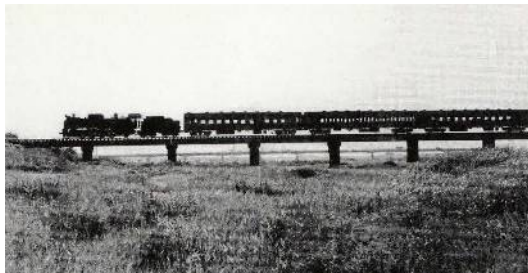
昭和 41 年 5 月 14 日に名古屋－多治見間が複線電化された。



勝川橋上流約 530m 程にある中央線庄内川橋梁 (右岸上流から)  
(令和 2 年)



庄内川橋梁 複線化工事(昭和 40 年)



庄内川橋梁を渡る D5 右岸上流  
後方に見えるのは勝川橋 (昭和 35 年)



現在に残る字西切野の庄内川橋梁跡  
(奥に現在の路線が見える)

(令和元年頃)

## ⑪ 勝川橋(国道 19 号) (河口から 23.2Km)

「勝川の渡し」が廃止後、仮橋などは掛けられていたが、明治 15 年(1882)に庄内川堤防より松丸太を伐採し始めて木造の土橋が架けられた。

明治 33 年(1900)中央線が開通した頃には、欄干付き、橋脚 18、厚い横板敷の橋床で、荷車がすれ違えるゆったりとした構造の木橋が架かっていた。

明治 44 年(1911)下街道が郡の管理下となり大正 8 年(1919)長さ約 160m、幅員 4.5m の木橋に約 4 千 6 百円かけて架け替えられたが、大正 14 年(1925)の大雨で流失したため、昭和初め待望のコンクリート橋が完成している。

老朽化のため昭和 29 年(1954)長さ 300m、幅 7.5m 鋼桁、橋面コンクリートの橋に架け替えられた。

現在の勝川橋は、長さ 301.2m、幅 27.5m(6 車線、歩道付)で平成 3 年に 50 億円で竣工した国道 19 号の立派な永久橋である。



旧勝川橋と建造中の勝川橋 (昭和 29 年)



昭和 29 年架設された勝川橋 (昭和 32 年)  
左に勝川天神社の社叢がみえる。

## 参考資料

名古屋市守山区歴史散歩 守山区を巡る橋  
郷土誌かすがい第 75 号 春日井の橋名が発するもの



平成 3 年に架け替えられた現在の勝川橋 (右岸上流から)  
(令和 2 年)

庄内川に架かる橋メモ